

M A R
K E T
E Y E

マーケット・レポート

情報提供資料
2025年3月11日

10日の米国株安と今後のマーケット見通しについて

- トランプ政権の関税政策が景気減速につながるとの懸念から米国株は大幅安に
- S&P500指数は市場が注目する「調整局面入り」の分水嶺、高値から▲10%水準に接近
- 安全資産の債券は上昇、株・債券同時安となった2022年とは異なり分散投資が有効に

- 1 10日の米国株式市場では、景気減速への懸念から売りが膨らみ、NYダウは前日比890ドル安(同▲2.1%)、ナスダック総合指数は同727ポイント安(同▲4.0%)で終わりました。リスクを抑える動きから、昨年来大幅に上昇している大型テクノロジー株の下落率がとくに大きくなっています。
- 2 マーケットが落ち着きを取り戻すきっかけとしては、トランプ政権による関税政策の取り扱いが鍵を握ると考えられます。S&P500指数は「調整局面入り」の分水嶺とされる直近高値から10%下落(5529ポイント)に近付いており、政権側としても既に看過できない株価調整となっているとみられます。トランプ政権がどのタイミングで動くかを予測することは難しいですが、早晚、関税策の発動を緩和する等の対応が採られることは十分にあり得ると考えられます。
- 3 昨日は米国市場では株式が売られる一方、安全資産の債券が買われています。急激な利上げで株・債券が同時安となった2022年の調整局面とは異なり、分散投資の効果が発揮されています。関税以外でもトランプ政権の政策を巡る不確実性は今後残ると予想される中、安定した運用成果を実現する為には、特定の地域や資産クラスに偏らず、分散投資を継続することが有効な手段と考えます。

S&P500指数と米10年国債利回り



【出所】ブルームバーグからの提供データ等に基づき、りそなアセットマネジメントが作成

※当資料の使用に際し、最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

作成:運用戦略部 投資戦略グループ チーフ・ストラテジスト 下出 衛



りそなアセットマネジメント

RESONA

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、リそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、リそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。